

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

5年 2月 28日

1 団体の名前

ふりがな	きゅうじゅうなちゆるらちーむ
団体の名前	久重naturalチーム

2 活動のテーマ

久重の里山の魅力 再発見プロジェクト! ① ～SDGsで持続可能なまちづくり～
--

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月	7/16「久重のまちづくり計画」第7回策定会議に参画する 7/17川の学習「水生生物調査と魚釣り体験」 7/30湿田の「ハイケボタル」をみに行こう
8月	新型コロナウイルス感染症拡大のため防災ミニデイキャンプを延期する
9月	9/4景観作物 ヒマワリの種植え 9/21ヒマワリ畑の害虫駆除
10月	10/8「久重のまちづくり計画」第8回策定会議に参画する 10/16簡易トイレの使い方学習 10/22防災ミニデイキャンプ前日準備、10/23防災ミニデイキャンプ
11月	11/13雨のため防災里山ウォーク中止、11/19「久重のまちづくり計画」策定会議 編集委員会に参画する、11/23「久重の里山の傷ぐすり」を作ろう、「寄付の教室」に参加、11/27「久重の名所を知ろう」
12月	12/10「久重のまちづくり計画」策定会議 編集委員会に参画する 12/11ロープワーク 「読もっか」原稿作成
1月	1/21「久重のまちづくり計画」策定会議 編集委員会に参画する 1/22「未来をかえ隊」との交流会 1/28「久重のまちづくり計画」策定会議 編集委員会に参画する
2月	2/11「久重のまちづくり計画」策定会議 編集委員会に参画する 2/12未来をかえ隊清掃活動「スポGOMI」に参加 2/25NPOアワード2022「ワカモノ未来賞」プレゼン発表会
	久重地域連携協議会「久重youth」部会 立ち上げの話し合い

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうになくなったと思うか書いてください。

<感想>

川の学習では、久重の川にすむ水生生物を「生物指標」と照らし合わせてみると、久重の川は「きれいな川」だということがわかりました。使っていない田んぼにヒマワリを植えることで久重に花が増え、みんなで何度も見に行きました。簡易トイレを使ってみると、以外とにおいが気になることに気が付き、その解消法が課題です。久重の野草を使った防災食を地域のひとと調理して食べました。久重の野草「オニタビラコ」を使った軟膏作りでは、野草の活用法に驚きました。軟膏は乾燥する冬に大活躍でした。未来をかえ隊さんとの交流やイベントへの参加が楽しかったです。

<まちが良くなったと思うこと>

これまで防災への取り組みは地域の大人の方だけでしていました。私たち久重naturalチームも防災を学び地域の役に立ちたいと思い、今年度もこどもファンドの活動で防災に取り組みました。久重の野草を使った防災食レシピを教えてもらったり、ロープワークや簡易トイレの使い方を学んだりすることを通して地域のひととのつながりがうまれました。また、昨年度から参加してきた「久重のまちづくり計画」策定会議が終了しましたが、終わったあとも地域のひとと久重について話したい！久重の未来を考えたい！と思い、こども・わかもの会「久重youth(わかもの)部会」をつくることになりました。より地域の大人と子どもの連携ができていくと思います。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

星空観察会

地域の防災研修旅行

防災ウォークラリー

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

星空観察会は日程が合わなかった

地域の防災研修旅行は8月にあったためコロナウイルスの影響で中止となった。防災デイキャンプも8月から10月に延期した。

防災ウォークラリーは雨で中止となった。

<つまづいたとき、活動をすすめていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

天候や、コロナウイルスの影響で活動に制限があったが、時期をかえて実施した。

防災ウォークラリーは、手作りのしおりを作成し、鉛筆や名札を購入しているので、それらを使って来年度実施したい。

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

来年度の大きな活動は、久重小学校区で行われる、一宮地区防災イベントでのブースのお手伝いです。主に久重naturalチームの中高生が地域のひとや小学生に、簡易ベット・マンホールトイレの使い方を教えたり、お菓子ポーチを一緒に作ったりします。初めて3年計画でこどもファンドに取り組んでいます。来年度は1年目に学んだ防災術を活かして地域のひととさらに関わりながら久重の防災活動を行います。

私たちの住む久重地域は、山の上にあります。大きな地震が起こったときは、数日間、助けが来ないと予想されます。そのような時に、こどもらしいアイデアで地域のひとが元気になるよう、大人と協力して楽しく過ごせるように考えていきます。



竹ご飯



防災ミニデイキャンプ



ロープワーク



簡易トイレの使い方



久重の資源を知ろう



久重の里山の傷ぐすり



水生生物調査



景観作物・ヒマワリ



未来をかえ隊との交流会



「里山あるきとホタルのタベ」



「久重のまちづくり計画」策定会議集合写真



令和4年度決算報告書

	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収入	ファンド助成金	169,500 円	158,802 円	
	合計	169,500 円	158,802 円	

	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支出	非常用簡易トイレ	19,400 円	25,370 円	簡易トイレ,テント,トイレ処理セット25,370円
	ロープワーク用ロープ	20,000 円	3,124 円	ロープ,テープ3,124円
	釣り用道具・エサ	600 円	822 円	釣り用道具(虫取り網,バケツ,ボックス,テープ,テープカッター)770円 エサ(うどん)52円
	調理材料代、飲料水	25,000 円	24,201 円	調理材料代(米,四方竹,炭,マコモタケ)3,000円、食材(ガスボンベ,油,天ぷら粉,氷砂糖,塩,ゴマ,めんつゆ,みりん,醤油,醤油)4,528円、飲料水等(アクリリアス,お茶,水,熱中症飴)2,182円、ゴム手袋1,468円、調理道具(紙皿,箸,スポンジ,紙コップ,トング,ひしゃく,棚,石けん,洗剤)2,416円、(鍋,やかん,バット)10,057円、(ヒモ,スプーン)550円
	防災ウォーク	8,000 円	3,911 円	えんぴつ,名札
	チラシ, 成果物	55,000 円	56,339 円	コピー用紙30円 成果物(27,290円、12,650円、16,369円)56,309円
	講師謝礼金	28,000 円	28,000 円	1,000円×1人、2,000円×1人、3,000円×5人 5,000×2人
	団体保険	6,000 円	5,240 円	3,770円、1,470円
	消耗品	7,500 円	11,795 円	横造紙220円、ペン275円、用紙681円、ティッシュ217円、軟膏容器2,343円、消毒液599円 ガムテープ、リボン1,174円、インク代5,196円、送料540円 ビニール袋220円、袋330円
	合計	169,500 円	158,802 円	

